

# 発掘された松本 2011

## 松本市遺跡発掘報告会



出川南遺跡発見の方形周溝墓

開催：平成 24 年 2 月 11 日（土）

時間：午後 1 時～3 時 45 分

会場：松本市時計博物館 4 階本町ホール

松本市教育委員会

# 発掘された松本 2011

～松本市遺跡発掘報告会～

## 次 第

平成 24 年 2 月 11 日（土）

|             |                            |  |
|-------------|----------------------------|--|
|             | <b>司 会</b>                 | 松本市教育委員会文化財課課長補佐 大竹永明                                  |
| 13:00       | <b>開 会</b>                 |  |
| 13:00～13:05 | <b>ご 挨拶</b>                | 松本市教育委員会教育長 吉江 厚                                       |
| 13:05～13:15 | <b>趣旨説明・平成 23 年発掘調査の概要</b> | 松本市教育委員会文化財課課長 塩原明彦                                    |
| 13:15～13:45 | <b>事例報告① 出川南遺跡の発掘調査</b>    | 松本市教育委員会文化財課 三村竜一                                      |
| 13:45～14:15 | <b>事例報告② 県町遺跡の発掘調査</b>     | 松本市教育委員会文化財課 小山貴広                                      |
| 14:15～14:25 | <b>休 憩</b>                 |  |
| 14:25～14:55 | <b>事例報告③ 新井遺跡の発掘調査</b>     | 松本市教育委員会文化財課 福沢佳典                                      |
| 14:55～15:35 | <b>講 演</b>                 | <b>松本の弥生文化 ～最近の研究動向から～</b><br>長野県教育委員会文化財・生涯学習課 平林 彰 氏 |
| 15:35～15:45 | <b>質 問</b>                 |  |
| 15:45       | <b>閉 会</b>                 |  |
| 15:45～      | <b>発表者による展示解説（3 階展示室）</b>  |  |



平成23年(2011年)埋蔵文化財発掘調査、報告書刊行一覧表

|    | 遺跡・調査名  | 調査期間                 | 調査面積                      | 調査原因              | 時代            | 備考      |
|----|---|----------------------|---------------------------|-------------------|---------------|---------|
| 1  | モモセ ミナミセキ ダイ ジ<br>百瀬南遺跡第2次  | 22.12/13～<br>23.3/28 | 1377m <sup>2</sup>        | 学校プール建設           | 平安時代・中世       | 平安時代集落  |
| 2  | イデガワ ミナミセキ<br>出川南遺跡第17次   | 22.4/12～<br>23.12/20 | 4624m <sup>2</sup>        | 市道建設              | 弥生・古墳・平安時代、中世 | 原始・古代集落 |
| 3  | アガタマヂセキ ダイ ジ<br>県町遺跡第16次  | 22.6/7～<br>24.3/31   | 4600m <sup>2</sup>        | 保育園建設             | 弥生・古墳・平安時代    | 弥生～古代集落 |
| 4  | ミマザワ ガワサガン イセキ ダイ<br>三間沢川左岸遺跡第<br>4次                                    | 22.4/12～<br>23.7/20  | 11742m <sup>2</sup>       | 工業団地造成            | 平安時代          | 平安時代集落  |
| 5  | ミマザワ ガワサガン イセキ ダイ<br>三間沢川左岸遺跡第<br>5次                                    | 23.4/25～<br>24.3/31  | 7897m <sup>2</sup>        | 工業団地造成            | 平安時代          | 平安時代集落  |
| 6  | アライ イセキ ダイ ジ<br>新井遺跡第2次   | 23.5/19～<br>24.3/31  | 8000m <sup>2</sup>        | 土地区画整理            | 古墳～平安時代       | 古代集落    |
| 7  | ゴフク ジ ドウダイラ<br>牛伏寺堂平  | 5/25～6/12            | 80m <sup>2</sup>          | 学術発掘              | 平安・鎌倉時代       | 古代中世寺院跡 |
| 8  | イデガワ ミナミセキ ダイ ジ<br>出川南遺跡第16次  | 5/30～7/29            | 89.4m <sup>2</sup>        | 県道建設              | 古墳・平安時代       | 平安時代散布地 |
| 9  | トノムラ イセキ<br>殿村遺跡第3次   | 7/19～11/7            | 36m <sup>2</sup>          | 遺跡整備事業            | 中世            | 中世遺構群   |
| #  | ナガイ ハライセキ<br>長居原遺跡  | 8/16～8/31            | 4m <sup>2</sup>           | 学術発掘<br>(測量調査を含む) | 中世            | 東海大学が実施 |
| #  | シモハラ イセキ ダイ ジ<br>下原遺跡第2次  | 23.10/3～<br>24.3/31  | 2000m <sup>2</sup>        | 畑地帯総合整備<br>事業     | 縄文時代中期        | 縄文時代集落  |
| 12 | ナカイロ コジョウ クボイセキ<br>中入古城の窪遺跡   | 11/4～12/26           | 275.5m <sup>2</sup>       | 農道建設              | 平安時代・中世       | 古代集落跡   |
| 13 | マツモト ジョウセキ<br>松本城跡<br>三 マルテンアトニシガチホセガン<br>(三の丸御殿跡西側内堀東<br>メインガキ<br>面右垣) | 23.10/24～<br>24.2/3  | 175m <sup>2</sup>         | 史跡整備              | 戦国～江戸時代       | 城館跡     |
| #  | シナイ イセキ カクニンチョウサ<br>市内遺跡確認調査  | 通年                   | 3550.23<br>m <sup>2</sup> | 試掘・立会             | 各時代           | 試掘50地点  |
| 15 | ヨコタ フルヤシキ イセキ<br>横田古屋敷遺跡  | 通年                   |                           | 民間開発              | 弥生時代          | 報告書作成   |
| #  | トノムラ イセキ<br>殿村遺跡第2次   | 通年                   |                           | 遺跡整備事業            | 中世            | 報告書作成   |

※調査面積未確定のものは推定値

## 平成23年（2011）松本市発掘調査一覧

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 1  | 遺 跡 名<br>所在地/原因事業 | ももせみなみいせき<br>百瀬南遺跡(第2次) 寿豊丘 991 番ほか 学校プール建設事業  |
|  | 調査期間・面積           | 平成 22 年 12 月 13 日～平成 23 年 3 月 28 日 1,377 m <sup>2</sup>  |
|  | 時代<br>遺構・主な遺物     | 時代： <sup>へいあんじだい</sup> 平安時代（約 1000～1100 年前）<br>遺構： <sup>たてあなじゅうきよし</sup> 竪穴住居址9、 <sup>ほつたてばしらたてもの</sup> 掘立柱建物2、 <sup>どこう</sup> 土坑20<br>遺物： <sup>はじき</sup> 土師器、 <sup>すえき</sup> 須恵器、 <sup>ぼくしよ</sup> 墨書土器  |
| 【特記事項】 竪穴住居を中心とする平安時代中期の集落跡の発掘調査です。調査地の東側に遺構が集まり掘立柱建物を中心に半円を描くように住居址が発見されました。西側は住居が存在せず、土坑や溝がいくつかあるだけで、調査区の中央に集落縁辺部が想定できます。  |                   |  |
| 2  | 遺 跡 名<br>所在地/原因事業 | いでのがわみなみいせき<br>出川南遺跡(第17次) 出川町 11 番ほか 市道建設事業   |
|  | 調査期間・面積           | 平成 22 年 4 月 12 日～平成 23 年 12 月 20 日 4,624 m <sup>2</sup>  |
|  | 時代<br>遺構・主な遺物     | 時代： <sup>じょうもん</sup> 縄文時代～ <sup>かまくら</sup> 鎌倉時代（約 800～2300 年前）<br>遺構： <sup>たてあなじゅうきよし</sup> 竪穴住居址102、 <sup>どきかんぼ</sup> 土器棺墓4、 <sup>れきしよもつかんぼ</sup> 礫床木棺墓1、 <sup>えんけいしゅうこうぼ</sup> 円形周溝墓1、 <sup>ほうけい</sup> 方形周溝墓1ほか土坑、ピット多数<br>遺物：縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、石器ほか |
| 【特記事項】過去の調査では竪穴住居跡 282 軒や古墳時代中期の平田里古墳が確認されており、一帯に弥生時代中期から平安時代の大規模な集落があったことがわかっています。今回の調査地は遺跡の北東端部にあたり、縄文時代から中世にかけての多数の遺構が重なり合っ<br>て発見され、各時代の大規模集落の一端を確認することができました。特に弥生から古墳時代を主とした 100 軒を超える竪穴住居跡と共に、方形周溝墓や礫床木棺墓などの弥生時代の多様なお墓が確認され、当時の墓制を解明していく上で貴重な資料を得ました。  |                   |  |
| 3  | 遺 跡 名<br>所在地/原因事業 | あがたまちいせき<br>泉町遺跡(第16次) 泉 1 丁目 1947 番 4 ほか 保育園建設事業  |
|  | 調査期間・面積           | 平成 22 年 6 月 7 日～調査中 約 4,600 m <sup>2</sup>   |
|  | 時代<br>遺構・主な遺物     | 時代：弥生時代～平安時代（約 1000～2100 年前）<br>遺構： <sup>たてあなじゅうきよし</sup> 竪穴住居址55、 <sup>どきかんぼ</sup> 土器棺墓1、 <sup>どこう</sup> 土坑、溝多数<br>遺物：弥生土器、土師器、須恵器、 <sup>かいゆとうき</sup> 灰釉陶器、 <sup>りよくゆとうき</sup> 緑釉陶器、石器、 <sup>くだたま</sup> 管玉70、 <sup>まがたま</sup> 勾玉9、鉄製品、銅製品             |
| 【特記事項】平安時代面では総計 50 軒の住居跡や多数の土坑・溝などを発見しました。土師器などと共に緑釉陶器・ <sup>りよくさいもんどう</sup> 緑彩文陶、 <sup>えつじ</sup> 越磁、 <sup>はくじ</sup> 白磁、 <sup>まるとも</sup> 墨書土器、 <sup>じゅんぼう</sup> 銅椀、丸軛・巡方といった特殊な遺物が多数出土し、特に 200 点近く出土した緑釉陶器は松本市内最多です。弥生時代面では弥生時代中期の住居址 5 軒や建物跡 3 軒などと共に多数の勾玉・管玉がまとまって出土しました。弥生時代中期の玉類がまとまって出土した事例は松本市では初めてです。また弥生時代後期の土器棺墓と思われる土坑が 1 基確認されました。市内では 2 例目の発見で、当時の墓制を考える上で貴重な資料です。 |                   |  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | <small>みまざわがわさがんいせき</small><br>三間沢川左岸遺跡(第4次) 和田 4070 番ほか 工業団地造成事業                              |
|   | 調査期間・面積  | 平成 22 年 4 月 12 日～平成 23 年 7 月 20 日 11,742 m <sup>2</sup>  |
|   | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：平安時代（約 1000 年前）<br>遺構：竪穴住居址 10、土坑 85、土坑墓 2<br>遺物：土師器、黒色土器、灰釉陶器、緑釉陶器、鉄製品、炭化材                 |
|   | 【特記事項】 三間沢川左岸遺跡はこれまでに 3 次にわたる発掘で、住居跡が 270 棟以上発見された平安時代の大集落跡です。また、緑釉陶器や銅製品などの貴重な遺物も多数見つかっていました。今回の調査地点は遺跡の北端部に相当するとみられ、住居跡の分布はまばらでしたが集落の北限を区画する巨大な用水路が発見されました。西方の山麓から水路を引いて一帯を開拓し、ムラを築いた明らかな証拠でしょう。墓からは完全な形の土器が何点も出土しました。                         |  |
| 5 | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | 三間沢川左岸遺跡(第5次) 和田 4070 番ほか 工業団地造成事業   |
|   | 調査期間・面積  | 平成 23 年 4 月 25 日～調査中 7,897 m <sup>2</sup>  |
|   | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：平安時代（約 1000～1100 年前）<br>遺構：竪穴住居址 9、土坑、溝、柵、当時の道の痕跡<br>遺物：土師器、須恵器、灰釉陶器、白磁、鉄製品、銅製品、炭化材         |
|   | 【特記事項】 今回の調査では集落を囲む溝と、溝を渡って集落の内外を行き来する通路状の遺構、溝と平行に並ぶ柵と考えられるピット、また集落の外に設けられた道と考えられる平行する溝が発見されました。集落の縁辺と想定する一帯に、一般の居住地域とは異なるムラの主要な施設が見つかったこととなります。今回の調査によって三間沢川左岸遺跡という大集落の周囲の様相が明らかになり、当時のムラのあり方、人々の境界意識を知る重要な手掛かりが得られました。                         |  |
| 6 | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | <small>あらいいせき</small><br>新井遺跡(第2次) 里山辺 1801-1 ほか 土地区画整理事業                                      |
|   | 調査期間・面積  | 平成 23 年 5 月 19 日～調査中 約 8,000 m <sup>2</sup>  |
|   | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：古墳時代～平安時代（約 1000～1500 年前）<br>遺構：竪穴住居址 140、掘立柱建物、土坑多数、洪水跡<br>遺物：土師器、灰釉陶器、黒色土器、須恵器、緑釉陶器、石器、鉄器 |
|   | 【特記事項】 現在確認できているだけで約 140 軒の竪穴住居跡が発見されました。調査区のほぼ全面に住居跡が隙間なく発見され、非常に密集度の高い、拠点的な集落であったことがわかりました。集落は古墳時代中期から営まれ始め、平安時代の中頃まで約 500 年間にわたって継続しています。また、薄川や他の河川の洪水の跡もいくつか見つかりました。住居跡の中や周囲からは土器や鉄器など多数の遺物が出土しています。古代における里山辺の薄川扇状地の開発を探っていく上で貴重な発掘成果となりました。 |  |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 7  | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | <small>ごふくじどうだいら</small><br>牛伏寺堂平(第2次) 内田 牛伏寺誌刊行会による学術調査               |
|    | 調査期間・面積  | 平成23年5月25日～6月12日 約80㎡  |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：平安時代、鎌倉時代(約800～1000年前)<br>遺構：人為的な平坦地、竪穴住居址、巨石<br>遺物：平安時代・鎌倉時代の土器・陶器 |
|    | 【特記事項】 牛伏寺は寺伝によると鎌倉時代には堂平にあったと言われており、伝承で堂平とされる場所(海拔1180m)に寺院跡が存在するか昨年に引き続き学術調査を行いました。平成21年に測量調査で確認した人工的な平坦地でトレンチ調査をしました。その結果、平安時代の竪穴住居跡が確認されました。 / * トレンチ：試掘のために掘る溝  |  |
| 8  | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | 出川南遺跡(第16次) 双葉4-16 県道建設事業  |
|    | 調査期間・面積  | 平成23年5月30日～7月29日 89.4㎡   |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：古墳～中世(約400～700年前)<br>遺構：溝 遺物：土器                                     |
|    | 【特記事項】 溝状の遺構が2本発見され、数点の土器片が出土しました。かなり深い位置で中世の層が確認され、本調査地は出川南遺跡の中でも、弥生時代～古代にかけて特に標高が低い地点であったことがわかりました。砂層や礫層、酸化・還元層が複雑に堆積していたことから、常に流水を繰り返し浸食活動が活発な河川が存在していたと推測されます。   |  |
| 9  | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | <small>とのむら</small><br>殿村遺跡(第3次) 会田536番ほか 遺跡整備事業                       |
|    | 調査期間・面積  | 平成23年7月19日～11月7日 36㎡   |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：中世 遺構：中世の整地層、石列<br>遺物： <small>はじしつどき</small> 土師質土器、陶磁器、銅製品          |
|    | 【特記事項】 第1次調査で確認した中世の平坦な造成地の南西隅の状況を確認しました。今回調査でも分厚い盛り土層が確認され、平坦地西端まで整地されていることが予想されました。南端の法面は昨年の調査で確認された土塁南面の延長線上にあり、平坦地南面は一直線であった可能性が高いことが確認されました。地山面上に中世前半期の遺構が確認され、その時期から造成が始まったという予測を裏付けました。また出土陶磁器によって遺跡の最終段階が16世紀後半(永禄～天正頃)であることが確かめられました。 |  |
| 10 | 遺跡名<br>所在地/原因事業  | <small>ながいはら</small><br>長居原遺跡 会田8971-7 東海大学による学術調査                     |
|    | 調査期間・面積  | 平成23年8月16日～8月31日 4㎡  |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物  | 時代：中世～近世(約1000～1100年前)<br>遺構：石積 遺物：陶磁器                                 |
|    | 【特記事項】 会田地区の <small>こくぞうさんろく</small> 虚空蔵山麓に存在する石積み遺構群です。昨年から東海大学考古学研究室が測量調査を行っており、今年は1基の石積みを発掘調査しました。  |  |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 11 | 遺跡名<br>所在地/原因事業   | はたしもほらいせき<br>波田下原遺跡(第2次) 波田字下原 9623-1 畑地帯総合土地改良事業                         |
|    | 調査期間・面積   | 平成23年10月3日～調査中 約2,000㎡  |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物   | 時代：縄文時代中期(約4000～5000年前)<br>遺構：竪穴住居址18、土坑13、溝状遺構2<br>遺物：縄文土器、土偶、石器         |
|    | 【特記事項】波田下原遺跡は、山形村下竹田地区と波田下原地区の境辺りに広がる縄文時代から平安時代の遺跡です。1m幅の細長い調査地区でしたが多数の縄文時代の遺構が見つかりました。竪穴住居跡の中からは石囲炉、柱穴、袋状土坑(貯蔵穴)、周溝等の各施設が見つかっています。また、土坑が集中する地点があり、これまで13基の土坑が見つかりました。縄文土器は縄文時代中期中葉から後葉のものが出土しています。縄文時代中期後葉の土器の特徴である唐草文様が目立ちます。                 |   |
| 12 | 遺跡名<br>所在地/原因事業   | なかいりこじょう くぼいせき<br>中入古城の窪遺跡 入山辺 4625-1 ほか 農道建設事業                           |
|    | 調査期間・面積   | 平成23年11月4日～12月26日 275.5㎡  |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物   | 時代：平安時代(約1000年前)、中世<br>遺構：竪穴住居址2、掘立柱建物址2、竪穴状遺構、土坑、ピット<br>遺物：土師器、陶器、銅製品    |
|    | 【特記事項】農道建設に伴う試掘で平安時代の土器が出土したため新たな遺跡として調査を行いました。付近には鎌倉時代の創建とされる徳雲寺があり、また戦国期の中入城(山家城)のすぐ麓にあたることから、寺院または城郭に関する遺構・遺物の発見が期待されました。調査の結果、土坑や楕円形に配列されたピット、竪穴状遺構、住居跡、掘立柱建物跡などがみつかりました。竪穴状遺構から出土した土器は11世紀以前の平安時代のものと推定され、入山辺には1000年以上前から人が住んでいたことがわかりました。 |   |
| 13 | 遺跡名<br>所在地/原因事業   | まつもとじょうせき に まるごてんあとにしがわうちぼりひがしめんししがき<br>松本城跡(二の丸御殿跡西側内堀東面石垣) 丸の内4番 史跡整備事業 |
|    | 調査期間・面積   | 平成23年10月24日～平成24年2月3日 約175㎡   |
|    | 時代<br>遺構・主な遺物   | 時代：戦国時代～江戸時代(約200～400年前)<br>遺構：石垣<br>遺物：瓦、陶磁器、金属製品、木製品                    |
|    | 【特記事項】二の丸御殿跡の西側に面する内堀の東側石垣が長年の変化で膨らんで崩落の恐れがあるため、石垣の積み直しを行う前段の調査を昨年に引き続き行いました。その結果、現在の通路になっている場所から埋め立てられた石垣が発見され、内堀の形が現在と異なっていたことがわかりました。二の丸の変遷過程を探る上で重要な発見となりました。   |   |

※一覧表の内容は、あくまで調査終了時や調査中での概要です。調査報告書作成のために整理作業を行っていく中で、遺構・遺物の数や特記事項の内容が変わることがあります。

# 事例報告① 出川南遺跡の発掘調査

## 1 調査概要

- (1) 調査地の所在 松本市出川町548-1番地外  
 (2) 調査原因 松本市による市道小池平田線の建設工事  
 (3) 期間 平成22年4月12日～平成23年12月20日  
 (4) 調査面積 約2,036㎡（実質調査面積4,624㎡）

## 2 調査成果

### (1) 主な遺構

- ・ 竪穴状住居址 102軒（弥生時代32・古墳時代54・古代16）
- ・ 竪穴状遺構 4基（中世） ・ 掘立柱建物址 7棟（弥生時代1・古墳時代3・中世3）
- ・ 土器棺墓 4基（縄文時代1・古墳時代3）
- ・ 礫床木棺墓、円形周溝墓（溝部分）、方形周溝墓 各1基（弥生時代）
- ・ 土坑墓（木棺墓含む）31基（弥生時代22・古代1・中世8）
- ・ 溝 40基（弥生時代10・古墳時代2・古代4・中世17）
- ・ 土坑・ピット約1,000基（弥生時代～中世）

### (2) 主な遺物

- ・ 土器（縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・磁器）
- ・ 石器（打製石鏃・磨製石鏃、打製石斧、石庖丁、紡錘車、砥石、玉類）
- ・ 金属製品（釘、刀子、銭貨）
- ・ ガラス製品（玉類）

## 3 集落の変遷

- (1) 居住域の開発（弥生時代、古墳時代、古代、中世）  
 (2) 墓域の開発（縄文時代～中世）

## 4 課題

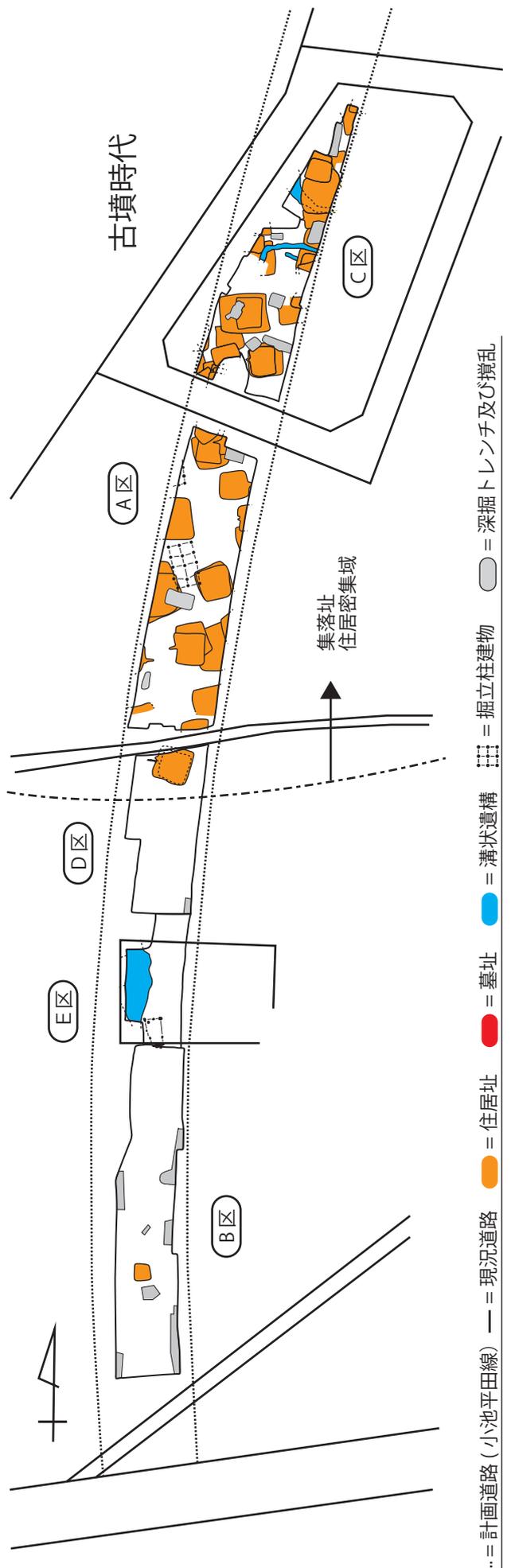
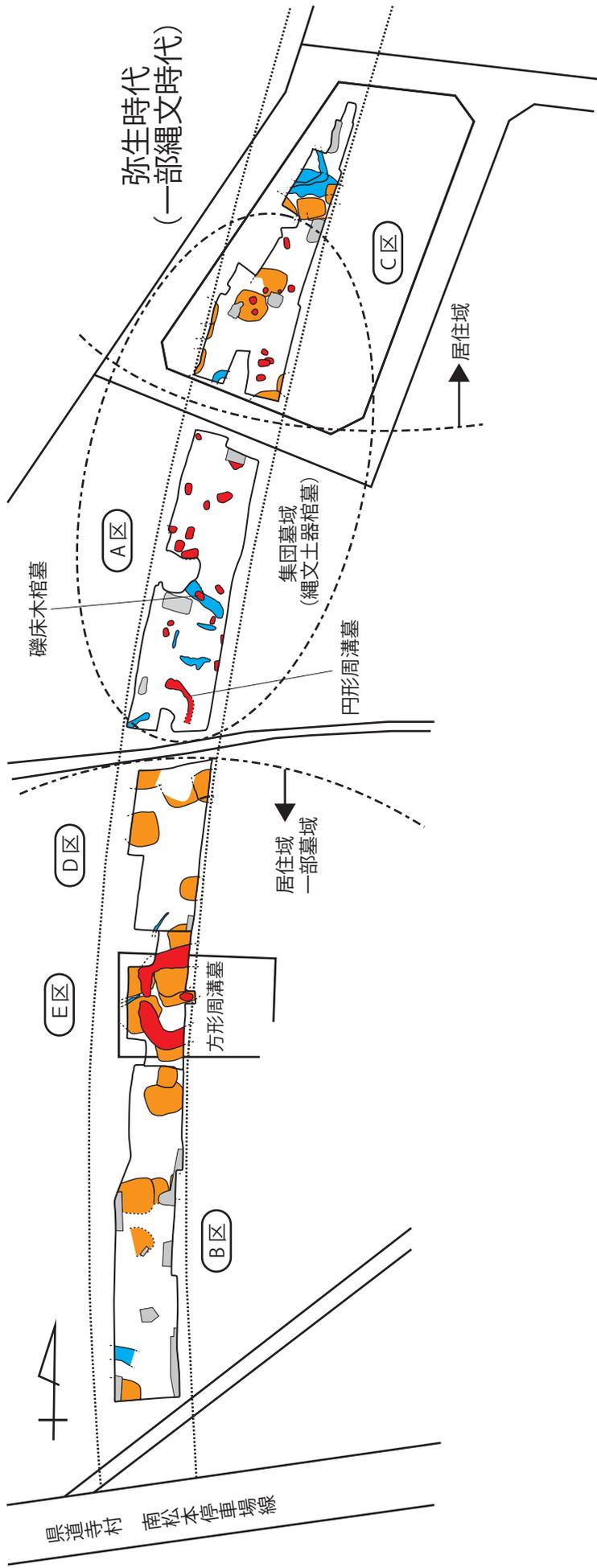
- (1) 土器棺墓検出の意義（縄文）  
 (2) 多様な墓の検出の意義  
 (3) 古墳時代の大集落の形成（古墳時代）  
 (4) 弘法山古墳との関連（古墳時代）

調査一覧

| 実施年度 | 面積<br>(㎡) | 調査成果                                  | 備考       | 住居数  | 弥生  | 古墳  | 奈良  | 平安 | 不明 |    |
|------|-----------|---------------------------------------|----------|------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 1    | S.61      | 1325 住居址5 竪穴状遺構3、掘立柱建物址1、土坑1、溝4       | 遺構面2枚    | 5    | 1   | 1   |     | 3  |    |    |
| 2    | S.63      | 1715 住居址1 土坑26、ピット61 溝1               |          | 1    |     | 1   |     |    |    |    |
| 3    | H.1       | 900 住居址6                              |          | 6    |     |     | 6   |    |    |    |
| 4    | H.3       | 14688 住居址116 掘立柱建物址21 柱列2 土坑ピット多数 溝   | 平田里古墳も調査 | 116  |     | 113 |     | 3  |    |    |
| 5    | H.10      | 281 住居址11 土坑6、ピット11                   |          | 11   |     | 2   | 5   |    | 4  |    |
| 6    | H.10      | 1486 住居址4 竪穴状遺構2 掘立柱建物址3 土坑ピット60 溝6   | 遺構面2枚    | 4    | 3   | 1   |     |    |    |    |
| 7    | H.10      | 867 住居址50 掘立柱建物址1 土坑175 ピット13 溝2      |          | 50   |     | 11  |     | 39 |    |    |
| 8    | H.11      | 3293 住居址48 掘立柱建物址1 土坑144 溝1 遺物集中自然流   | 遺構面2枚    | 48   |     | 7   | 8   | 14 | 19 |    |
| 9    | H.11      | 240 住居址2(古墳後期) 土坑4、ピット7               |          | 2    |     | 2   |     |    |    |    |
| 10   | H.11      | 560 住居址4(平安前期) ピット5、溝1                |          | 4    |     |     |     | 4  |    |    |
| 11   | H.13      | 188 住居址3 土坑7(火葬施設1) ピット232 溝1 自然流路2   | 遺構面3面    | 3    | 1   |     |     | 2  |    |    |
| 12   | H.13      | 2197 住居址13 土坑34 ピット70 溝1              |          | 13   |     | 2   | 8   | 2  | 1  |    |
| 13   | H.14      | 25 住居址2(時期不明2)                        | トレンチ調査   | 2    |     |     |     |    | 2  |    |
| 14   | H.19      | 383 住居址2 掘立柱建物址2 土坑9 ピット11 溝状遺構5      |          | 2    |     | 2   |     |    |    |    |
| 15   | H.21      | 1839 住居址15 土坑29 ピット39 溝8(自然流路5) 石積遺構1 |          | 15   |     | 2   | 4   | 9  |    |    |
| 16   | H.23      | 26 溝2                                 |          | 0    |     |     |     |    |    |    |
| 17   | H.22/23   | 4624 住居址102 掘立柱建物7 竪穴状遺構4 埋葬施設など      |          | 102  | 32  | 54  | 16  |    |    |    |
|      | 面積計       | 34637                                 |          | 住居数計 | 384 | 37  | 204 | 41 | 76 | 26 |

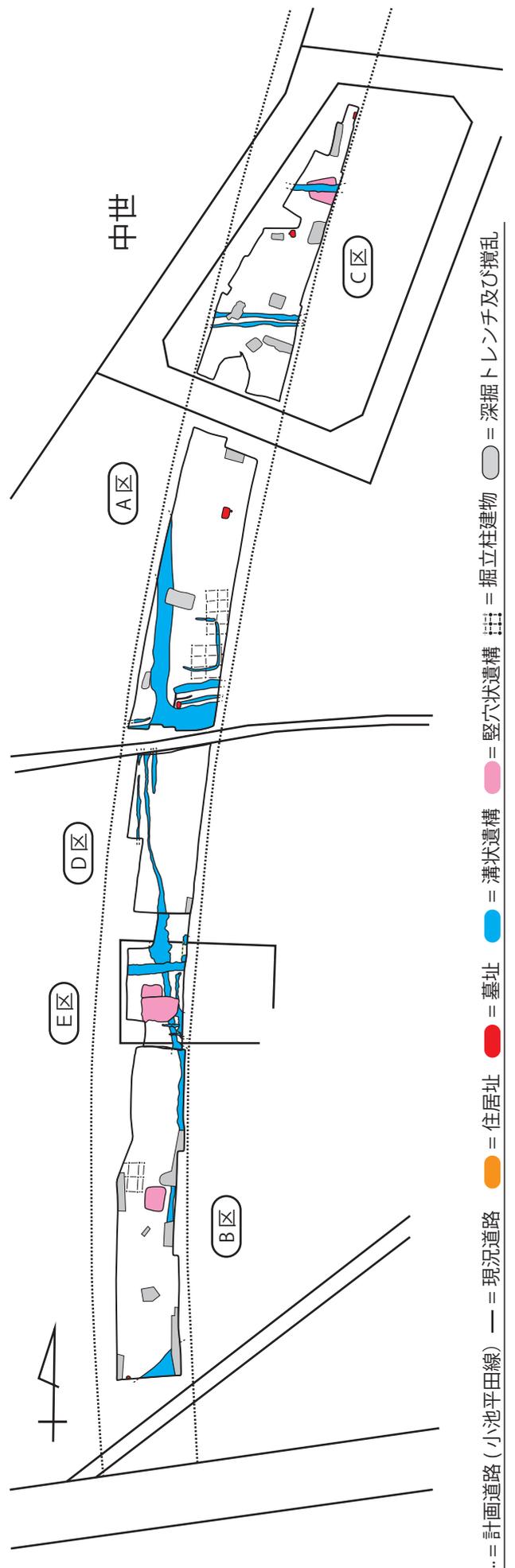
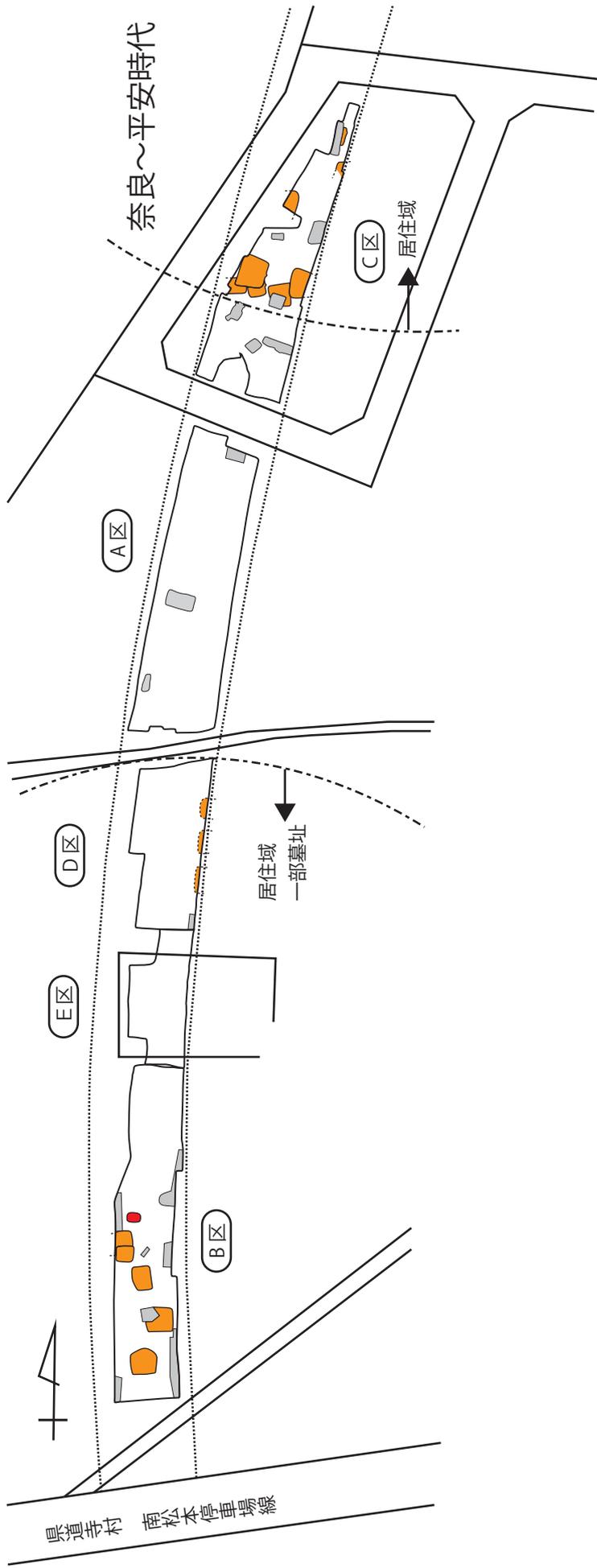


# A～E区 遺構全体図 主な遺構 (1/1000)



- ..... = 計画道路 (小池平田線)
- = 現況道路
- = 住居址
- = 墓址
- = 溝状遺構
- = 掘立柱建物
- = 深掘トレンチ及びび攪乱

A～E区 遺構全体図 主な遺構 (1/1000)



..... = 計画道路 (小池平田線) — = 現況道路 ○ = 住居址 ● = 墓址 ● = 薄状遺構 ● = 堅穴状遺構 ■ = 掘立柱建物 ○ = 深掘トレンチ及び攪乱

# 全時代遺構配置図 (1/400)





方形周溝墓



礫床木棺墓

# 事例報告 2 県町遺跡の発掘調査

## 調査の概要

|      |  |
|------|--|
| 所在地  | 松本市県1丁目1947-4他   |
| 原因事業 | 幸町・東部統合保育園建設事業   |
| 調査面積 | 平安時代：約 3,300 m <sup>2</sup><br>弥生時代：約 1,300 m <sup>2</sup> |
| 調査期間 | 平成22年6月7日～現在継続中  |

## 県町遺跡とは

県町遺跡は薄川の北、あがたの森公園周辺に広がる遺跡です。これまで15回の発掘調査が行われ、弥生時代から奈良・平安時代までの大規模な集落の跡が見つかっています。

地名の元となっている「県」とは律令期以前に国造と並びおかれた<sup>あがためし</sup>県主の治める大和王権直轄の行政区分であることや平安時代において承平年間(931～937年)に成立した『倭名類聚鈔』(五、国郡部一二)に「信濃国、国府在筑摩郡行程上二十一日、下十日云々」とある信濃国の国府推定地<sup>わみょうるいじゆしやう</sup>に近く、国府<sup>くんが</sup>や郡衙が存在する可能性があるとして注目される遺跡でもあります。



県町遺跡と調査地の位置

## こくふ ぐんが 国府・郡衙とは

平安時代のころ地方は国郡里制に基づいて中央政府により支配されていました。国は幾つかの郡に別けられ中央から派遣された国司が郡を統治し、郡は郷に分けられ在地の有力者が郡司として郷を管理するといった支配制度が敷かれていたのです。(現在で置き換えると国=都道府県、郡=市町村)

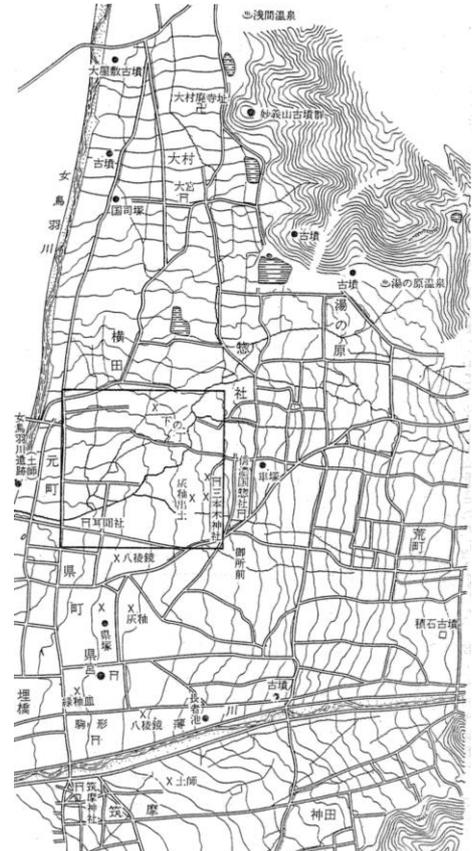
国府とはその国司が政務を行った場所のことで国庁や国司館、正倉、厨屋などで構成されていたとされています。郡衙とは郡司が郡務を行った場所のことを指し、正殿、脇殿、正倉などで構成されます。

長野県は当時信濃国と呼ばれ、この松本市域は筑摩郡に属していました。この信濃国の国府は置かれた当初は小県郡(上田市周辺)にありましたが、様々な理由から後に筑摩郡に移転されたと考えられています。



### 郡の分布

『長野県立歴史館常設展示図録』長野県立歴史館 1994



### 『東筑摩郡松本市・塩尻市誌』にみられる推定信濃国府範囲

『東筑摩郡松本市・塩尻市誌』 第2巻上  
東筑摩郡松本市・塩尻市郷土資料編纂会 1973

## 平安時代の調査

時期：平安時代後期(9世紀末~10世紀)

遺構：竪穴住居址 50軒 土坑、溝など

遺物：土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、石器(砥石、凹石)、鉄器(鎌、紡錘車)など

…日常的に使う道具

緑釉陶器(約200点)・緑彩文陶(7点)、(中国)越州窯青磁(10点)、白磁(3点)など

…高級品

墨書土器、転用硯、篋書土器

…文字資料(文書行政、徴税に関わるもの)

丸鞆(石製・銅製)、巡方(銅製)

…官人が身に着けていたもの

鉄滓など

…小鍛冶の痕跡

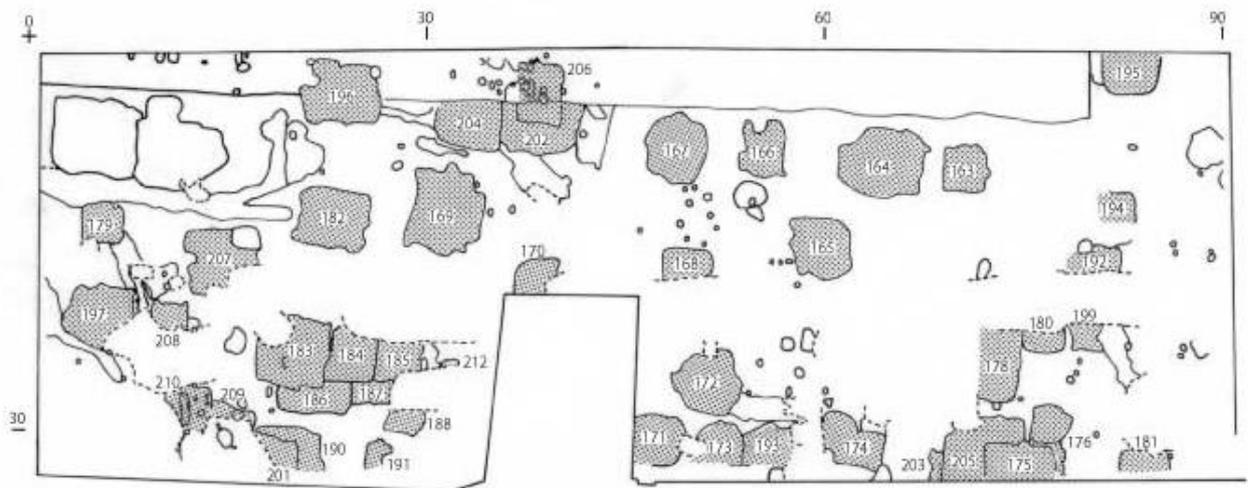
銅鏡

…仏具

調査区のほぼ全域から50軒の竪穴住居址が見つかりました。各住居ともに多くの遺物や礫を含んでおり、土師器や須恵器、灰釉陶器、黒色土器などの土器や石器、金属器などが出土しています。特に目を引くのが日常的な遺物に混ざって一般的には使用されない特殊な遺物も多く出土している点です。

200点近くの緑釉陶器と7点の緑彩文陶や中国から輸入された越州窯青磁、白磁などのいわゆる高級品、墨書土器などの文字資料、丸鞆・巡方など官位に関わるものなどがそれにあたります。特に緑釉陶器、緑彩文陶、越州窯青磁は松本市内最多の出土量を誇ります。一般的にこのような遺物は国府や郡衙と

いった施設から出土するといわれておりますが、調査では住居跡などから普遍的に出土するといった状態でした。そのため、集落内における官人の存在や行政事務の執行の可能性がうかがえます。



平安時代調査面全体図



日常的な土器



墨書土器



巡方・丸鞆



多量に出土した緑釉陶器



緑彩文陶



越州窯青磁

# 弥生時代の調査

時期：弥生時代中期 弥生時代後期 古墳時代前期

弥生時代中期 遺構：竪穴住居跡5軒 建物跡3棟 土坑、溝など

遺物：壺・甕・台付甕などの弥生土器、石包丁・太型蛤刃磨製石斧・打製石鏃・磨製石鏃などの石器、勾玉(9点)・管玉(70点)

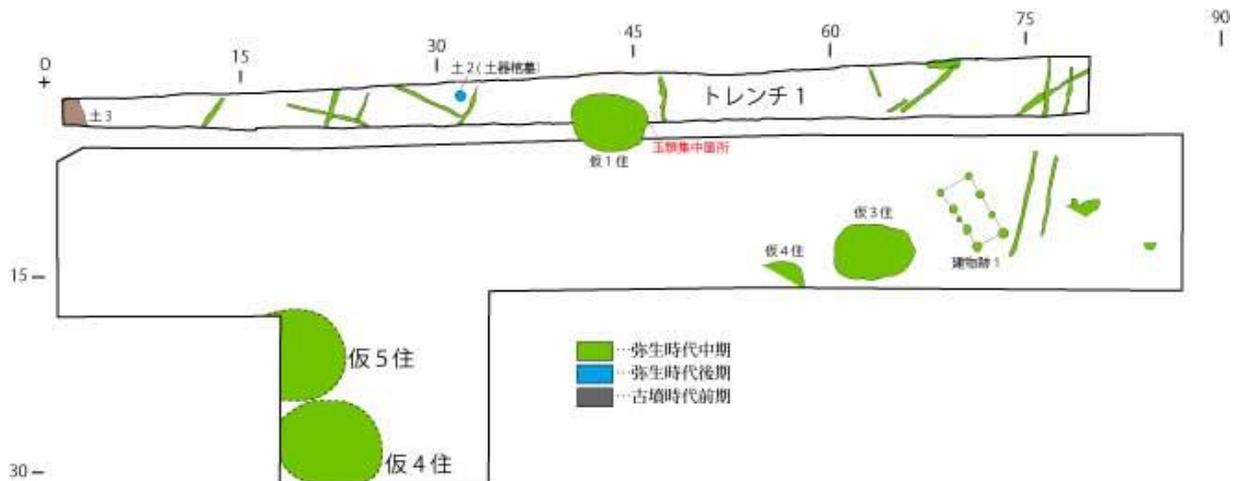
弥生時代後期 遺構：土坑1基(土器棺墓)

遺物：壺・甕

古墳時代前期 遺構：土坑1基(竪穴住居跡か)

遺物：土師器

弥生時代の調査面で弥生時代中期から古墳時代前期の遺構遺物が見つかりました。これは同一の地表面で各時代の人々が生活をしてきたことを示していますが、遺物の特徴から各時代には多少の断絶があったと考えられるため、継続して暮らしていたわけではありません。主体となるのは弥生時代中期の遺構遺物で弥生面の調査で出土したもののほとんどはこの時期のものにあたります。



弥生時代調査面全体図

## 弥生時代中期

5軒の竪穴住居跡と3棟の建物跡が見つかりました。住居跡の多くは住居床面に炭化材が見られたため、火災によって焼失した住居であると考えられます。調査区中央で見つかった仮1住付近からは総計79点の勾玉・管玉が出土しました。これらのほとんどは約1m四方の範囲に集中していました。仮1住が埋まった後に堆積した土層中に含まれていたため住居に関連するものではないと思われませんが、集中して出土していることから各玉は連、もしくは入れ物に入るなどしてまとまった状態で埋設もしくは埋没したものと考えられます。



仮1住の完掘状況



建物址1の柱穴列



床面に散らばる炭化物(仮1住)



断面に見える炭化物



仮1住から出土した土器



太型蛤刃型磨製石斧



打製・磨製石鎌



石包丁



出土した玉類

串の立っている所に玉が埋まっています





勾玉

管玉



首飾りとしてつなげた様子



装着した状態



今回出土の玉類



石材、作り、大きさが類似している



岡谷市天王垣外遺跡出土の玉類

# 弥生時代後期

調査区の中央付近に径約 60 c m程の土坑が見つかりました。土坑中には大型の壺と甕が横たわっていました。土器からは骨などは見つかりませんでした。過去の出土例から土器棺墓であると考えられ、市内では宮渕本村遺跡に次いで2例目の発見となります。土器棺は壺が主体となっており、底が割られて筒状になった壺に甕の底部が連結されていました。土器は検出した当初から上側が割れていました。ちょうどこの土坑の真上には平安時代の住居跡があり、その床面の高さで壺が割れていたため、平安時代に住居を建てた際割られたものと考えられます。土器の中からは多量の土器片と礫が出土しましたがこれもその際に落ち込んだものでしょう。

## 土器棺墓の調査過程

1: 出土状態



2: 土を半分のみ取り除いたところ



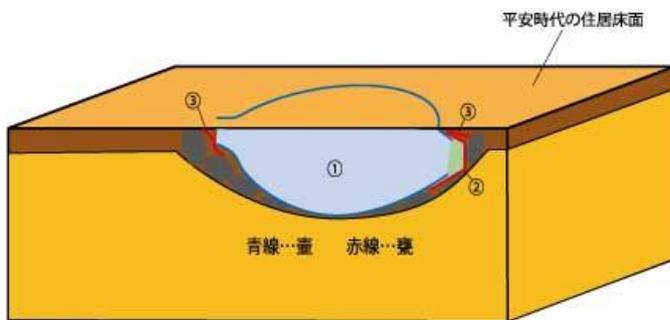
3: 中の土を取り除いたところ



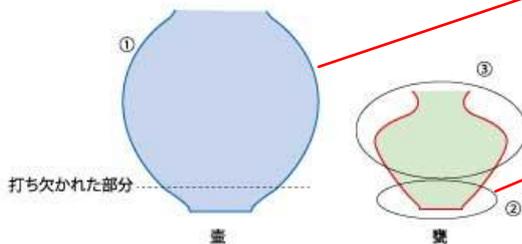
4: 掘りあがり



## 土器棺墓埋設状態模式図



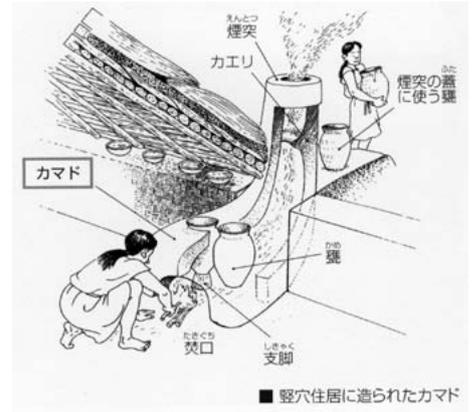
## 埋められていた土器



# 新井遺跡第2次発掘調査 報告会資料

## 1. 調査の概要

- (1) 調査地 : 松本市大字里山辺 1796-1、1797-1 ほか 10 筆
- (2) 調査期間 : 平成 23 年 5 月 19 日～現在継続中
- (3) 調査面積 : 調査対象面積・・・8 2 8 9. 1 5 m<sup>2</sup> (A～D区)  
調査終了面積・・・1 9 7 0 m<sup>2</sup> (A区)  
現在調査中面積・・・2 5 9 4 m<sup>2</sup> (B区)



## 2. 調査成果

### (1) 発見した遺構

- A区 : 竪穴建物(住居)跡・・・26軒  
掘立柱建物跡・・・4棟以上  
土坑・ピット・・・約200基
- B西区 : 竪穴建物(住居)跡・・・41軒  
土坑・ピット・・・約100基
- B東区 : 竪穴建物(住居)跡・・・約85軒  
土坑・ピット・・・約100基



写真 竪穴住居跡復元例

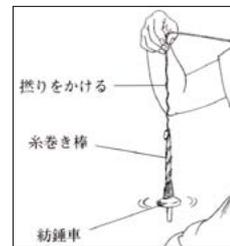
### (2) 発見した遺物

#### 1. 住居跡出土遺物(古墳時代中期～平安時代中頃)

- ◎土器・土製品 : 土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器  
土製丸玉
- ◎鉄製品 : 刀子(小刀)、鎌、鎌、紡錘車、釘など
- ◎石製品 : 勾玉、砥石、凹石(つき白)

#### 2. 洪水により上流から流されてきたもの

- ・緑釉陶器、土錘、旧石器?・縄文時代の石器(石鎌、打製石斧、黒曜石の剥片)



←紡錘車使用法

長くつないだ繊維に撚りをかけて糸とするおもりです。鉄製の他に土・石・骨角製などがあります。

### (3) 集落の様相

本調査では古墳時代中期～平安時代中頃にかけての竪穴住居跡が発見されており、ほとんどが薄川由来の洪水の影響を受けています。

平安時代の住居跡はA・B区に平均的に分布し、特にA区に多く見られます。平安時代の住居跡の多くはA区の洪水層の上に作られており、石だらけの地面を約60cmも掘り下げています。

奈良時代の住居跡はA区の北側からB区にかけて分布し、特にB西区に最も多く見られます。住居が埋まった後に薄く洪水層が堆積するため、奈良時代と平安時代の間洪水が起きたことがわかります。

古墳時代の住居跡はB東区に多く見られます。現在調査中のため詳細は不明ですが、特に南東隅に集中し、堀の内遺跡の概期集落との関連が推測されます。

古墳時代の住居が多く立地するB東区は、古い洪水層の上に安定した土が堆積した後に住居跡が作られています。その点は石がごろごろと露出していた場所に住居を作った平安時代の人々との大きな違いです。そのため、新井遺跡に集落を作り始めた人々はまず、より安定した地面のあるB区の西側から開発を始めたことがわかります。

遺構の分布密度や重複する状況から考えても、当時の集落が周辺にも展開していたことがわかります。現段階では集落を特徴づけるような特殊な遺構や遺物は確認できていません。



写真 竪穴住居跡重複状況（西から撮影）  
11～15、37号住居跡の状況です。いずれも東（写真上）側にカマドがつくられています。



写真 5号住居跡礫出土状況（西から撮影）  
住居跡には廃棄される時に礫が投げ込まれているものがあります。熱を受けているものあり、カマド石と考えられます。



写真 6号住居跡カマド状況（西から撮影）  
袖に構築材の石が良好に残っています。手前側は土が焼けた火床で、中央に甕を支える支脚石が残っています。



写真 カマドと須恵器甕を据えた穴（北から撮影）  
袖石は残っていませんが、手前側の礫が赤く焼けています。甕は上半が割れていますが据えられた状態で出土しました。



写真 15号住居跡遺物出土状況（北から撮影）  
東壁際に接したくぼみから残りの良い土器がたくさん出土しました。一括して捨てられたものと考えられます。



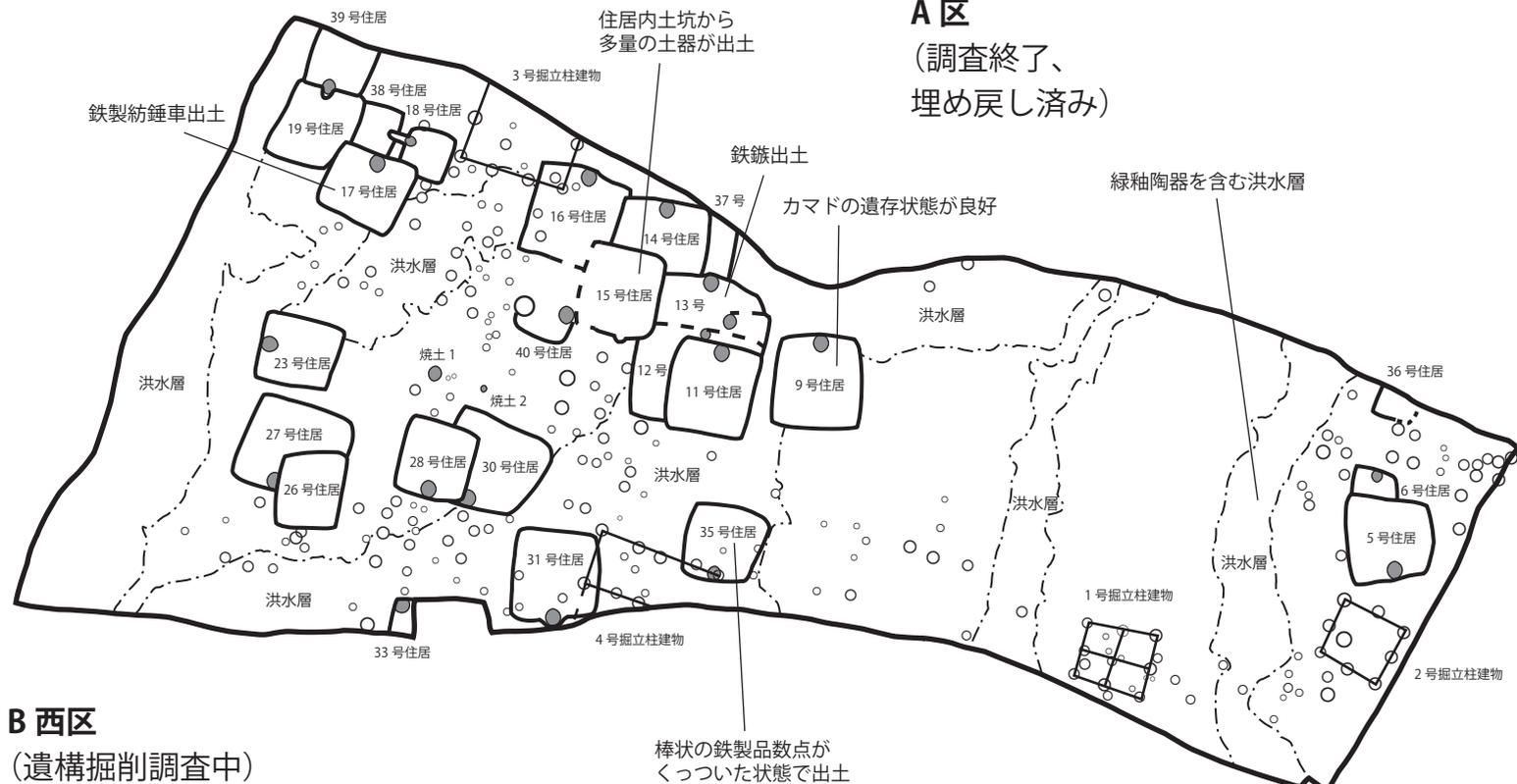
写真 28号住居跡高杯出土状況（東から撮影）  
住居内のピットの中から、上下が逆向きで寝かされているような状態で出土しました。



**B 東区**  
(現在遺構検出中)



**B 西区**  
(遺構掘削調査中)



**A 区**  
(調査終了、埋め戻し済み)

**A・B 西区検出遺構概略図**

(S=1 / 400)

- ※○は土坑・ピットです。
- ※●はカマドの位置を表します。

松本の弥生文化 ～最近の研究動向から～

平林 彰

1 弥生時代の年表

| 東アジア   |        |       | C14年  | 地域ごとの土器群の変遷  |                |                       |                                  |                                  |                                      |   |                               |
|--------|--------|-------|-------|--------------|----------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---|-------------------------------|
| 中国     | 韓国     | 日本    |       | 北部九州         | 近畿             | 東海                    | 北陸                               | 中部                               |                                      |   |                               |
| 商      | 無紋土器時代 | 縄文 晩期 |       | 上菅生B<br>(長行) | 滋賀里Ⅲa<br>滋賀里Ⅲb | 元荊谷<br>稲荷山            | 御経塚・勝木原<br>中屋                    | 佐野1a<br>佐野1b                     |                                      |   |                               |
| BC1072 |        |       | 西周    | 早期           | BC1000         | 夜白Ⅰ <曲田><br>夜白Ⅱa <原山> | 滋賀里Ⅳ<br><馬見塚F>                   | 西之山<br>下野                        | 佐野Ⅱa<br>佐野Ⅱb                         |   |                               |
| BC 770 |        | 春秋    |       |              | 前期             | BC 800                | 夜白Ⅱb・板付Ⅰ<br>板付Ⅱa<br>板付Ⅱb<br>板付Ⅱc | 船橋<br>Ⅰ様式(古)<br>Ⅰ様式(中)<br>Ⅰ様式(新) | 五貫森<br>馬見塚<br>櫛王<br>水神平              | (長竹)鳥屋1<br>(長竹)鳥屋2a<br>柴山出村 鳥屋2b<br>柴山出村 (緒立) | (女鳥羽川・籬山)<br>氷Ⅰ古<br>氷Ⅰ新<br>氷Ⅱ |
| BC403  |        |       | 戦国    | 中期           |                | BC 400                | 城ノ越                              | Ⅱ様式                              | 朝日 岩滑<br>(篠塚)                        | 八日市地方   | 庄ノ畑(針塚)                       |
| 秦      |        |       |       |              |                | 前漢                    | 後期                               |                                  | 須玖Ⅰ(古)<br>須玖Ⅰ(新)<br>須玖Ⅱ(古)<br>須玖Ⅱ(新) | Ⅲ様式<br>Ⅳ様式                                    | 貝田町 瓜郷<br>白岩                  |
| BC206  |        | 後漢    | (終末)  | AD 1         | 高三渚<br>下大隈     |                       |                                  | V様式                              | 見晴台<br>山中(前)<br>山中(後)                | 猫橋<br>法仏                                      | 吉田<br>箱清水Ⅰ                    |
| AD 25  |        |       |       | AD200        | 西 新            |                       |                                  | 庄内Ⅰ<br>欠山 廻間Ⅰ                    | 高蔵                                   | 八日市地方   | 箱清水Ⅰ                          |
| AD220  |        | 三国    | 古墳 前期 |              | 庄内Ⅱ・Ⅲ          | 元屋敷 廻間Ⅱ               | 白江                               | 古墳Ⅰ期                             |                                      |   |                               |

町田勝則「弥生石器を考えるー栗林様式の石器を考えるにあたりー」(『長野県考古学会誌』138・139)2011を加除修正  
 藤尾慎一郎他「弥生時代の開始年代」(『総研大文化科学研究』創刊号)2005を加除修正

2 松本の弥生中期の遺跡

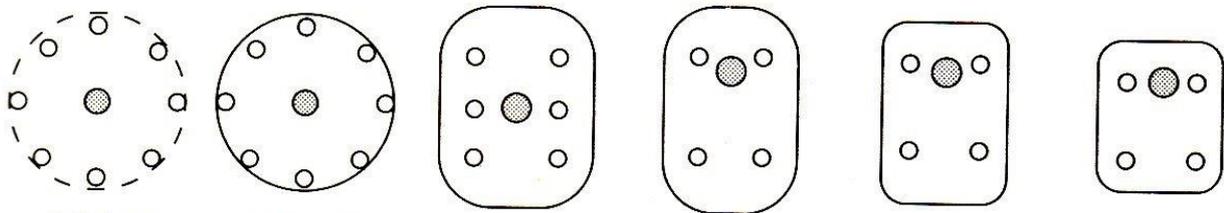
| 遺跡名    | 地区   | 発見された遺構  | 出土遺物            | 備考  | 発掘年      |      |
|--------|------|--|-----------------|---|----------|------|
| 1 宮淵本村 | 宮淵本村 | 竪穴住居址45  | 土器              | 居住域縁辺   | 1985     |      |
| 2 横山城  | 内田   | 竪穴住居址2   | 土器<br>石器        | 集落址   | 1966     |      |
| 3 原度前  | 寿小赤  |  | 土器              |   | 耕作時に採集   |      |
| 4 境窪   | 神林   | 竪穴住居址10<br>平地住居址2<br>掘立柱建物址9<br>礫床墓1<br>土器棺墓1<br>土壇<br>黒曜石集積 | 土器<br>石器<br>土製品 | 打製石鏃<br>磨製石鏃<br>太形蛤刃石斧<br>扁平片刃石斧<br>管玉<br>匙形<br>紡錘車 | 墓域を伴う集落址 | 1995 |
| 5 こぶし畑 | 今井   |  | 土器              | 集落址?  | 1973     |      |
| 6 岡田町  | 岡田   |  | 土器              | 遺物散布地   | 1991     |      |

以上中期前半の遺跡

| 遺跡名     | 地区      | 発見された遺構                  | 出土遺物                                  |  | 備考           | 発掘年  |
|---------|---------|--------------------------|---------------------------------------|--|--------------|--|
| 1 宮淵本村  | 宮淵本村    | 竪穴住居址45<br>礫床墓9          | 土器<br>石器<br>土製品<br>石製品                | 紡錘車<br>管玉(緑色凝灰岩・鉄石英)<br>小玉(ガラス製)   | 拠点的な集落       | 1985・1986・1988   |
| 3 (宮淵)  | 宮淵      |                          | 土器<br>石器                              |  | 既出品          |  |
| 7 県町    | 県       | 竪穴住居址43<br>土坑39<br>溝4    | 土器<br>石器<br><br>土製品<br>石製品<br><br>骨製品 | 打製石鏃<br>磨製石鏃(未製品)<br>石錐<br>太形蛤刃石斧<br>扁平片刃石斧<br>石包丁<br>砥石<br>研磨礫<br>紡錘車<br>管玉(緑色凝灰岩・鉄石英)<br>勾玉(ヒスイ)<br>骨鏃 | 後半～末は拠点的な集落  | 1980・1984～1989・<br>1991・1995・1996・<br>2001・2004・2007<br>2010・2011    |
| 8 横田古屋敷 | 元町      | 礫床墓●                     | 土器                                    |  | 集落址?         | 1982   |
| 9 出川西   | 南松本1・2丁 | 竪穴住居址2<br>溝              | 土器<br>石器<br><br>石製品                   | 打製石鏃(未製品)<br>磨製石鏃(未製品)<br>打製石斧<br>磨製石包丁<br>石錐<br>有孔石製品   | 地点の異なる2つの集落? | 1985・1993・1995<br>1996・2004  |
| 10 百瀬   | 寿豊丘     | 竪穴住居址8～<br>竪穴状遺構6<br>土壇2 | 土器<br>石器<br><br>土製品                   | 打製石鏃<br>磨製石鏃<br>石錐<br>打製石斧<br>打製石包丁<br>砥石<br>人面付土器   | 拠点的な集落       | 1946・1992・1997<br>1999   |
| 11 南栗   | 島立      |                          | 土器<br>石器                              | 磨製石鏃<br>打製石斧   | 遺物散布地        | 1983・1985  |
| 12 出川南  | 芳野町     | (竪穴住居址●)<br>(礫床墓1)       |                                       |  |              | 1986・1988・1989<br>1991・1998・1999<br>2001・2002・2007<br>2009・2010・2011 |

以上中期後半～末の遺跡

直井雅尚「弥生時代の生活と文化 弥生社会の発展」『松本市史 第2巻』1996を加除修正



中期初頭

中期中葉

中期後半

中期末～後期初

後期前半

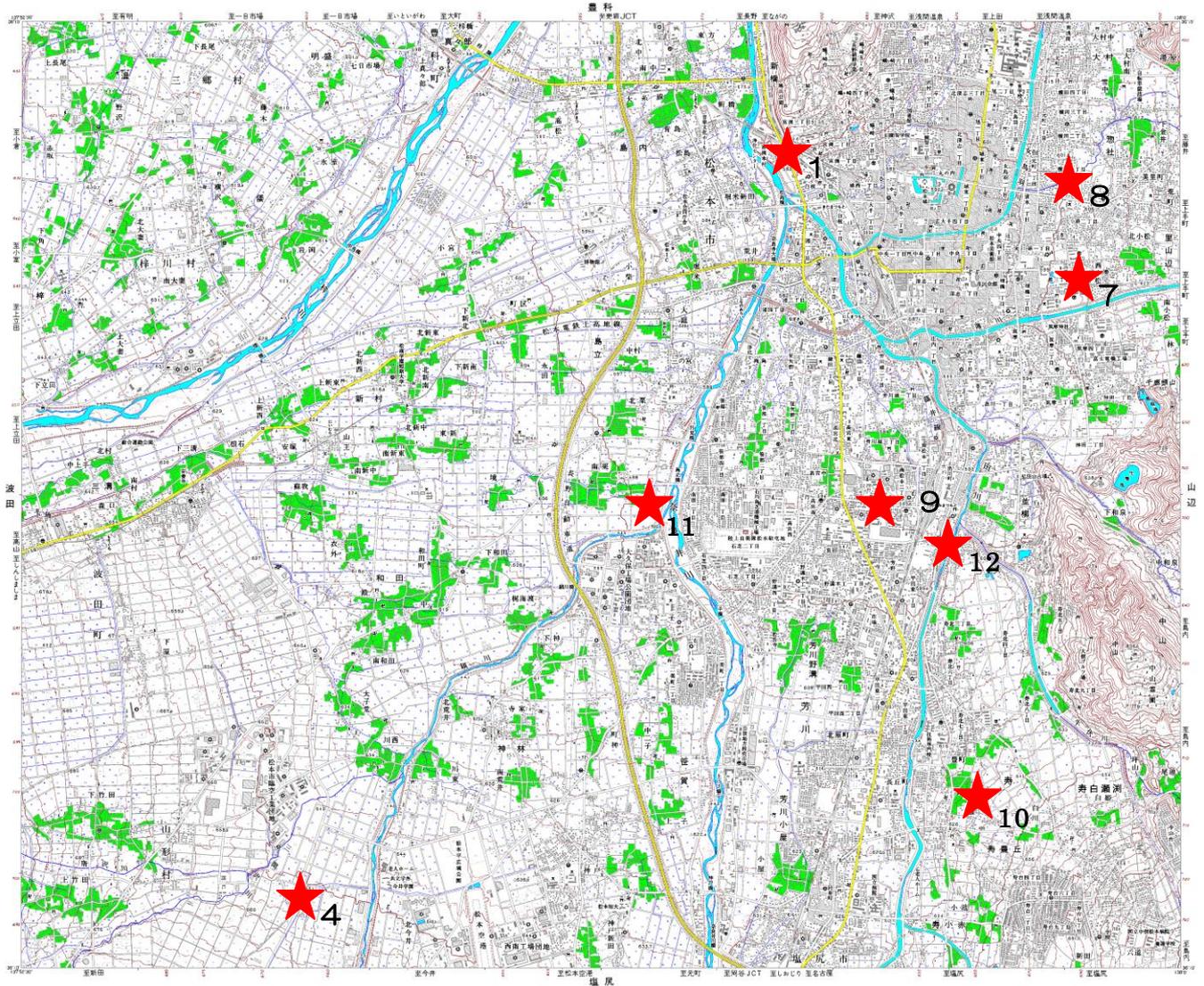
後期末

松本平における弥生時代の住まいの変遷

(丸印は炉と柱をしめす)

上屋を復元すると中期中葉までの円錐屋根から後半以降の切妻屋根への変化がわかる。

直井雅尚「弥生時代の生活と文化 衣・食・住」『松本市史 第2巻』1996



### 3 栗林式土器と緑色岩類磨製石斧の分布

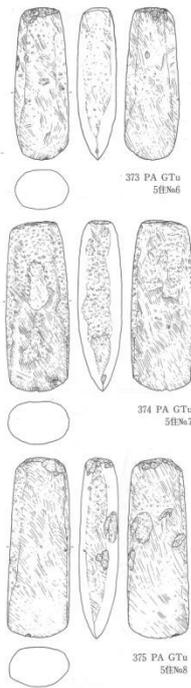


#### 「百瀬式土器」

(HP 松本市立博物館常設展示案内より)

1946年の百瀬遺跡竪穴住居址出土一括資料により命名された土器型式(桐原健「弥生式文化」『信濃史料 第1巻下』1956)。

栗林系土器群に含まれる松本平の土器群と理解されている(直井雅尚「松本平における百瀬式土器の実態」『長野県考古学会誌』63 1991)。



ふとがたはまぐりばせき  
「太形蛤刃石斧」境窪遺跡第5号住居址

(松本市教育委員会『長野県松本市境窪遺跡・川西開田遺跡Ⅰ・Ⅱ』1998)

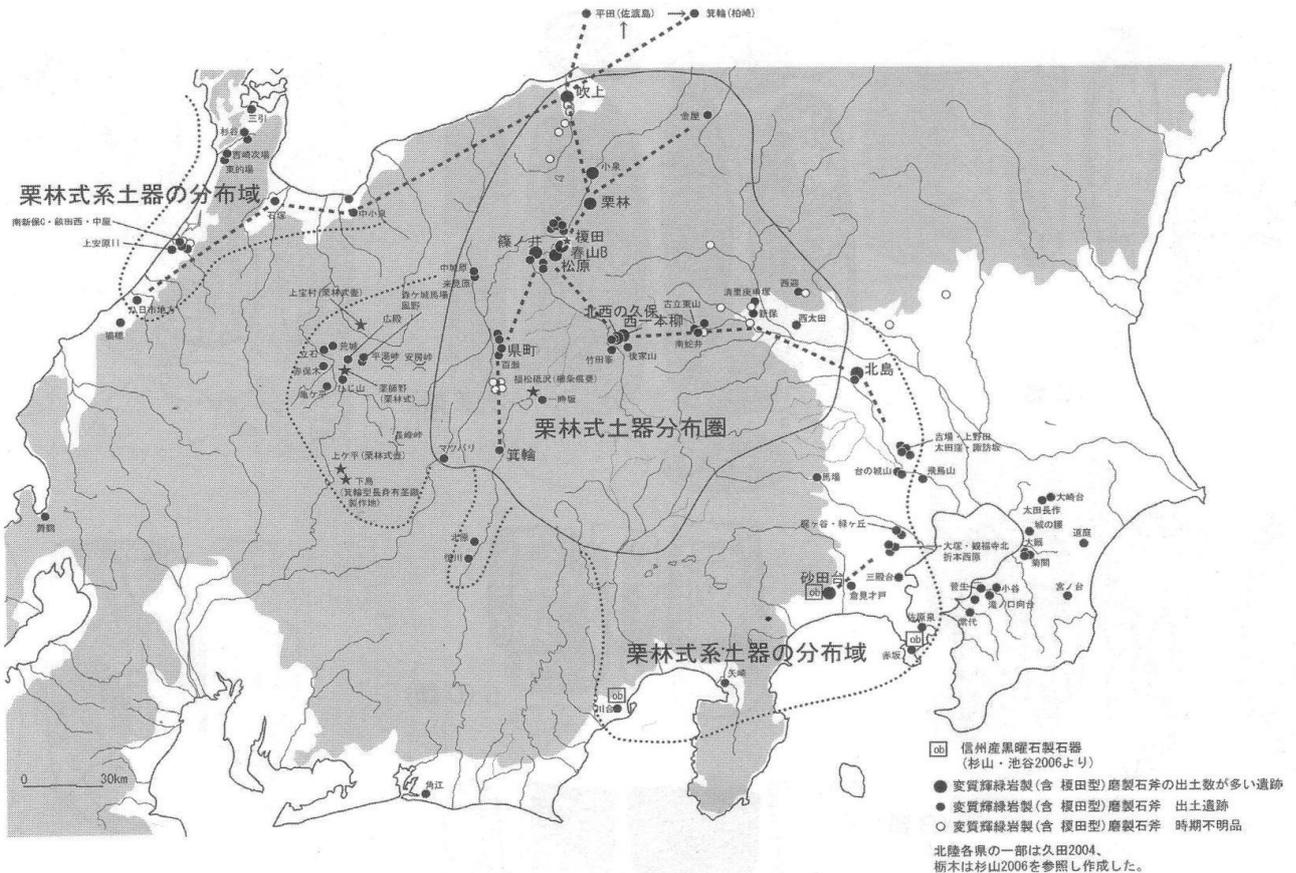


図7 緑色岩類製磨製石斧と栗林式土器の分布

長野市保科の妙徳山域から採取した緑色岩は春山 B 遺跡や榎田遺跡で荒割り・敲打され、松原遺跡、中俣遺跡、水内坐一元神社遺跡で研磨されて完成品となり、各地へ広がる。南



製)9点と管玉(鉄石英製・碧玉製)70点が出土。(『松本市民タイムス』平成24年2月3日)



柳沢遺跡の<sup>れきしょうもっかんほ</sup>礫床木棺墓群 (写真提供：長野県埋蔵文化財センター)

掘りくぼめた長方形の穴の中に板で棺をしつらえ底面に石を敷き詰めた墓。矢印の1号墓は墓穴の周りに大ぶりの石を積み他を圧倒している。1号墓からは管玉が101点出土した礫床木棺墓は善光寺平から犀川を遡り松本平へ伝わる一方、弥生後期には佐久から群馬県にまで広がりを見せる。(図版提供：長野県埋蔵文化財センター)



5 石戈と銅戈



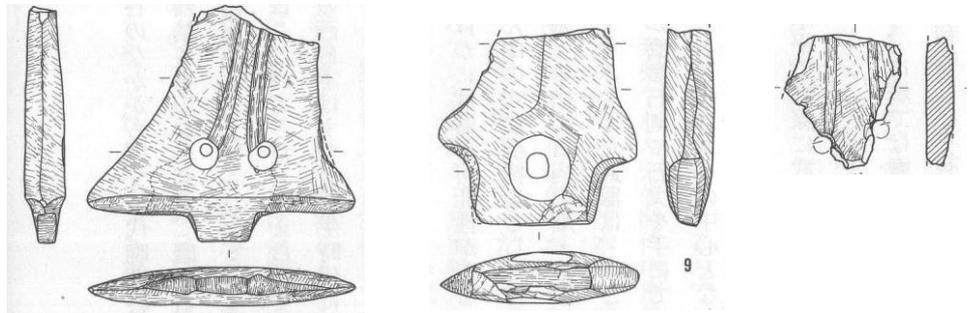
上段左から  
 松原遺跡 幅 11.4cm (長野市)  
 北裏遺跡 (佐久市)  
 沢村遺跡 (松本市)  
 下段左端 榎田遺跡の未成品  
 ほか 3 点 松原遺跡  
 左上の石戈は折れた先端部を研ぎだしてあるが、他は折れた状態のままである。

(県立歴史館『山を越え川に沿うー信州弥生文化の確立ー』2009)

松本の石戈

- 左：沢村遺跡
- 中：宮淵本村遺跡
- 右：平畑遺跡

関沢聡「弥生時代の生活と文化 武器を手にした人々」『松本市史 第2巻』1996



右上は溝の先端が閉じている九州型(中細式 C 類)。他は溝の先端が開いている近畿型(近畿型 I 類)。九州型の中細式 C 類は北部九州で須玖 I 式の甕棺内から出土している。近畿型 I 類は畿内第 II～III 様式に作られたらしい。ちなみに、右下の先端が欠けた銅戈は沢村の石戈に瓜ふたつた。

柳沢遺跡の銅戈 (写真提供：長野県埋蔵文化財センター)



柳沢の銅戈(左)は刃を立てて埋納されていた。これは島根県荒神谷遺跡の銅鉾(右)はじめ、近畿以西の武器形青銅器の埋納方法と共通する作法に則っている。

(写真提供 左：長野県埋蔵文化財センター 右：島根県古代文化センター)

6 銅鐸



塩尻市柴宮の銅鐸 三遠2式  
松本市宮淵出土の銅鐸(鈕の破片)も三遠2式で、いずれも弥生後期前半から中ごろに作られたらしい。  
(HP 平出博物館「塩尻の原始」展示室より)



柳沢遺跡の銅鐸

1・2 = 外縁鈕1式, 3・4 = 外縁鈕2式  
5 = 外縁付鈕2式～扁平鈕式古段階  
外縁付鈕式の銅鐸は弥生中期の中ごろに作られたらしい。

(写真提供：長野県埋蔵文化財センター)

# 開発工事等による市内遺跡試掘確認調査一覧（平成23年）

| No. | 事業者    | 所在地  | 原因事業     | 調査面積(m <sup>2</sup> ) | 遺跡との関係  |    | 遺構等の有無 | 検出遺構・遺物         | 備考              | 期間          |
|-----|--------|------|----------|-----------------------|---------|----|--------|-----------------|-----------------|-------------|
| 1   | 松本市    | 鎌田   | 市有地売却    | 17.66                 | 未確認地域   |    | なし     |                 |                 | 1月14日       |
| 2   | 個人     | 筑摩   | 店舗建設     | 9.00                  | 筑摩遺跡    | 該当 | なし     |                 |                 | 1月19日       |
| 3   | 長野県    | 芳野   | 集会所建設    | 48.50                 | 出川南遺跡   | 該当 | あり     | 古墳時代・平安時代住居址    | 本調査予定           | 1月26～27日    |
| 4   | 松本市    | 県    | 水路改修     | 285.80                | 県町遺跡    | 該当 | あり     | 古墳時代・奈良～平安時代    | 記録保存済           | 1月12日～2月4日  |
|     | 区画整理組合 | 里山辺  | 区画整理     | 187.40                | 新井遺跡    | 該当 | あり     | 古墳時代・奈良～平安時代住居址 | 本調査実施           | 12月2日～2月4日  |
| 5   | 民間会社   | 北深志  | 宅地分譲     | 9.00                  | 松本城下町跡  | 該当 | あり     | 江戸遺構・遺物         | 記録保存済           | 2月14日       |
| 6   | 長野県    | 双葉   | 県道拡幅     | 46.50                 | 出川南遺跡   | 該当 | あり     | 古墳・平安土器         | 本調査実施           | 3月2～3日      |
| 7   | 民間会社   | 岡田伊深 | 携帯電話基地局  | 16.92                 | 矢作遺跡    | 該当 | あり     | 縄文遺構・土器・石器      | 記録保存済           | 3月8～11日     |
| 8   | 長野県    | 原    | 砂防堰堤建設   | 30.00                 | 穴田前遺跡   | 近接 | なし     |                 |                 | 3月14日       |
| 9   | 松本市    | 四賀会田 | 小学校建設    | 80.00                 | 山王遺跡    | 近接 | なし     |                 |                 | 3月16～17日    |
| 10  | 松本市    | 村井町北 | 学校施設建設   | 21.00                 | 高畑遺跡    | 該当 | なし     |                 |                 | 3月28日       |
| 11  | 個人     | 寿北   | 共同住宅建設   | 26.00                 | 向原遺跡    | 該当 | あり     | 古墳土師器           | 現状保存            | 3月30日       |
| 12  | 松本市    | 県    | 受水槽等建設   | 136.50                | 県町遺跡    | 該当 | あり     | 弥生・奈良～平安土器      | 記録保存済           | 4月5～19日     |
| 13  | 個人     | 笹部   | 共同住宅建設   | 25.50                 | 未確認地域   |    | なし     |                 |                 | 4月12日       |
| 14  | 民間会社   | 平田西  | 携帯電話基地局  | 25.00                 | 平田本郷遺跡  | 該当 | なし     |                 |                 | 4月13～14日    |
| 15  | 独立行政法人 | 芳川村井 | 病棟建設     | 37.50                 | 村井遺跡    | 該当 | なし     |                 |                 | 4月25～26日    |
| 16  | 個人     | 沢村   | 共同住宅建設   | 10.20                 | 沢村遺跡    | 該当 | あり     | ピット・土師器         | 現状保存            | 4月27日       |
| 17  | 民間会社   | 岡田松岡 | 老人ホーム建設  | 84.90                 | 岡田松岡遺跡  | 該当 | あり     | 古墳～奈良住居址        | 現状保存            | 5月9,12日     |
| 18  | 民間会社   | 城山   | 宅地分譲     | 14.00                 | 放光寺遺跡   | 該当 | なし     |                 |                 | 5月13日       |
| 19  | 国土交通省  | 渚    | 国道拡幅     | 16.50                 | 渚城址     | 近接 | なし     |                 |                 | 5月16日       |
| 20  | 松本市    | 和田   | 工業団地造成   | 1200.00               | 和田下西原遺跡 | 該当 | あり     | 時期不明溝4条         | 記録保存済           | 5月17日～6月24日 |
| 21  | 個人     | 岡田町  | 共同住宅建設   | 208.20                | 樋渡し遺跡   | 該当 | あり     | 古代住居址           | 現状保存            | 5月25～27日    |
| 22  | 民間会社   | 高宮北  | 宅地分譲     | 25.50                 | 高宮遺跡    | 近接 | なし     |                 |                 | 5月31日       |
| 23  | 民間会社   | 野溝木工 | 宅地分譲     | 4.50                  | 五輪遺跡    | 該当 | なし     |                 |                 | 6月9日        |
| 24  | 松本市    | 出川   | 市道新設     | 9.20                  | 出川西遺跡   | 近接 | あり     | 弥生住居址           | 本調査予定<br>遺跡範囲拡大 | 6月13～15日    |
| 25  | 個人     | 双葉   | 共同住宅建設   | 13.50                 | 出川南遺跡   | 該当 | なし     |                 |                 | 6月22日       |
| 26  | 民間会社   | 里山辺  | 携帯電話基地局  | 5.00                  | 北小松遺跡   | 該当 | なし     |                 |                 | 7月1日        |
| 27  | 民間会社   | 里山辺  | 宅地分譲     | 27.00                 | 北小松遺跡   | 該当 | なし     |                 |                 | 7月4日        |
| 28  | 個人     | 筑摩   | 老人ホーム建設  | 46.50                 | 神田遺跡    | 該当 | あり     | 平安住居址・溝         | 現状保存<br>遺跡範囲拡大  | 7月6～7日      |
| 29  | 民間会社   | 元町   | 宅地分譲     | 37.50                 | 横田古屋敷遺跡 | 近接 | なし     |                 |                 | 7月11日       |
| 30  | 松本市    | 島内   | 児童センター建設 | 22.50                 | 島内南中遺跡  | 近接 | なし     |                 |                 | 7月13日       |
| 31  | 民間会社   | 蟻ヶ崎  | 宅地分譲     | 71.25                 | 蟻ヶ崎遺跡   | 該当 | あり     | 平安住居址           | 記録保存済<br>遺跡範囲拡大 | 7月14～15日    |

| No. | 事業者  | 所在地  | 原因事業        | 調査面積(m <sup>2</sup> ) | 遺跡との関係  |    | 遺構等の有無 | 検出遺構・遺物                  | 備考                      | 期間                                |
|-----|------|------|-------------|-----------------------|---------|----|--------|--------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
|     |      |      |             |                       |         |    |        |                          |                         |                                   |
| 32  | 民間会社 | 神林   | 宅地分譲        | 15.00                 | 下神遺跡    | 該当 | なし     |                          |                         | 7月21日                             |
| 33  | 民間会社 | 沢村   | 宅地分譲        | 15.00                 | 狐塚遺跡    | 近接 | なし     |                          |                         | 7月29日                             |
| 34  | 民間会社 | 石芝   | 宅地分譲        | 15.00                 | 未確認地域   |    | なし     |                          |                         | 8月4日                              |
| 35  | 松本市  | 入山辺  | 農道新設        | 111.10                | 中入遺跡    | 該当 | あり     | 中世集石遺構<br>平安住居址          | 遺跡新設(中入古城の窪遺跡)<br>本調査実施 | 8月24日 9月26~27日<br>10月11~13,17,25日 |
| 36  | 松本市  | 沢村   | 公園建設        | 37.50                 | 沢村遺跡    | 近接 | あり     | 平安住居址・溝                  | 現状保存<br>遺跡範囲拡大          | 8月31日                             |
| 37  | 民間会社 | 大手   | 共同住宅建設      | 26.40                 | 松本城下町跡  | 該当 | あり     | 江戸武家屋敷跡                  | 協議中                     | 9月6~8日                            |
| 38  | 民間会社 | 並柳   | 宅地分譲        | 21.00                 | 山行法師遺跡  | 近接 | なし     |                          |                         | 9月12日                             |
| 39  | 個人   | 横田   | 共同住宅建設      | 6.00                  | 横田遺跡    | 該当 | あり     | 縄文前期遺構・<br>弥生中期初頭土器      | 現状保存                    | 9月14日                             |
| 40  | 民間会社 | 野溝西  | 高齢者向け複合施設建設 | 22.50                 | 野溝遺跡    | 該当 | なし     |                          |                         | 9月16日                             |
| 41  | 個人   | 旭    | 個人住宅建設      | 10.70                 | 松本城下町跡  | 該当 | あり     | 江戸井戸・土坑                  | 記録保存済                   | 10月3~4日                           |
| 42  | 民間会社 | 島内   | 事務所建設       | 18.00                 | 未確認地域   |    | なし     |                          |                         | 10月6日                             |
| 43  | 個人   | 野溝東  | 共同住宅建設      | 15.00                 | 野溝遺跡    | 該当 | なし     |                          |                         | 10月18日                            |
| 44  | 民間会社 | 浅間温泉 | 共同住宅建設      | 6.00                  | 柳田遺跡    | 該当 | あり     | 縄文中期後半<br>集石遺構・黒曜石       | 現状保存                    | 10月19日                            |
| 45  | 民間会社 | 平田東  | 工場建設        | 10.50                 | 出川南遺跡   | 該当 | なし     |                          |                         | 10月24日                            |
| 46  | 民間会社 | 並柳   | 宅地分譲        | 15.00                 | 平畑遺跡    | 近接 | なし     |                          |                         | 11月1日                             |
| 47  | 個人   | 島立   | 共同住宅建設      | 12.00                 | 未確認地域   |    | なし     |                          |                         | 11月4日                             |
| 48  | 松本市  | 県    | 多目的広場造成     | 380.00                | 県町遺跡    | 該当 | あり     | 弥生土器・遺構、奈良~平安土師器・須恵器・住居址 | 協議中                     | 11月7~24日                          |
| 49  | 民間団体 | 筑摩   | 学校施設建設      | 6.00                  | 筑摩北川原遺跡 | 該当 | なし     |                          |                         | 11月24日                            |
| 50  | 個人   | 蟻ヶ崎  | 共同住宅建設      | 9.00                  | 蟻ヶ崎遺跡   | 該当 | なし     |                          |                         | 12月7日                             |